

MAYA MAXX 美術トーク



書とアート

MAYA MAXXさんが、書道美術館で美術トーク? と意外に思われますが、なんと2013年に優れた書家と作品をたたえる第8回手島右卿賞を受賞されています。

今回のトークに合わせ、記念館所蔵の手島右卿氏や前衛書家の作品を展示します。展示室を回りながら独自の目線で自由にお話をさせていただきます。新しい発見や楽しい書の世界になることでしょう。

Profile 1961年今治市生まれ
よしもとばなな・山田詠美などの小説の装丁画や絵本制作、CDジャケット制作を手掛ける。フジテレビ系「ポンキッキーズ」やNHK教育テレビ「真剣10代しゃべり場」などテレビ番組にも出演。映画「ハチミツとクローバー」の絵画指導や、各地でのライブペインティングなど多方面で活躍。2008年より何必館・京都現代美術館にて毎年個展を開催。

■と き 2014年 **10月4日(土)**

- 第1部 10:30~11:30
- 第2部 13:00~14:00
- 第3部 14:30~15:30

■ところ 村上三島記念館

- 定員 各部30名(先着順) ■参加料 無料(美術トーク参加者は観覧料も無料)
- 申込方法 9月5日(金)より村上三島記念館まで、電話、Fax(氏名・連絡先)にてお申込みください。
TEL 0897-87-4288 Fax 0897-87-4200

美術トークツアー展示作品の紹介

第1展示室

「前衛作品を中心とした館蔵名品展」(10月4日~)
常識的な文字の構成を否定して書の新しい造形美を求めた手島右卿が結成した独立書人団の青木香流、浅海蘇山、沢田大暁、比田井南谷、そして前衛書(墨象)の開拓者にして第1人者である宇野雪村の奎星会の稲村雲洞、上松杜暘、上羅芝山、貝原司研、小森秀雲、榭莫山、菅野清峯、大楽華雪、林子翠、藤原清洞、真鍋士鴻、新しい“現代書道”を提唱し自ら実践した飯島春敬らの作品を展示します。

第2展示室

「川端龍子 四国遍路草描画展」(好評につき期間延長)

第3展示室

「村上三島作品展」[書業65年記念作品](平成26年度常設)

書の世界 村上三島記念館

〒794-1402 愛媛県今治市上浦町井口7505番地 TEL 0897(87)4288 FAX (87)4200 (今治市上浦歴史民俗資料館)
開館時間 9:00~17:00 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は原則翌日振替) 観覧料 一般500円(400円)・学生250円(200円)

※()は、20名以上団体料金。65歳以上は団体料金を適用。
高校生以下または18歳未満と「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」所持者及びその介助者(障害者1人につき1人に限る)は、無料。